

Digica スタックエラー時の応急処置

以下、スタックエラーが多発する際の応急処置になります。
応急処置が出来ない状態、応急処置をしても改善されない状態の場合はサービスマンによる修理が必要となります（有償）。

□除電ブラシの修正。

この銀色のシールと一体になっているブラシ(毛)を丁寧に剥がし、位置を多少下げて貼り直します。毛が磨耗してくると出てくる用紙から静電気を取り除きにくくなるため用紙に毛を深く当てるためです。

※以下の場合には修理(有償)が必要になります。

- ・シールがはがれない状態になっている。
- ・上手くはがせない、再貼り付けが出来ない状態にはがれてしまう。
- ・応急処置でも改善されない。 等

※あくまでも応急処置ですので、早い段階での修理(有償)をお勧めいたします。



除電ブラシ
(用紙の出口にあります)